島民

中之島の「街事情」マガジン

夏号 Vol.130
2019 6/1

島民だから見える景色

ナカノシマ大学

「BMCと
いいビルの10年」
ビルマニアカフェ

ほか申し込み受付中!

島民_Vol_130.indd 1 2019/05/24 12:13

島民だから見える景色。

「中之島東端の虹」

中之島の東の端、剣先公園の先端には噴水がある。午前10時から午後8時30分まで、毎時0分と30分になると約5分間にわたって水が高く噴き出す。その下には虹がかかり、二つのアーチが交差する。ちなみに噴水の周りのシンボルモニュメントにも名前があり、「Sailing to the NEXT STAGE」というそうだ。

島民_Vol_130.indd 2 2019/05/24 12:13

こんな風景は中之島でしか見られない。よその街の人たちが羨む、島民ゆえの特権。

写真／浜田智則

「ミュージアム360」

360度の景色が撮れるレンズやスマホのアプリを使って中之島を眺めてみるのも楽しい。例えば国立国際美術館と大阪市立科学館の前の広場ならこんな感じ。国立国際美術館の外観は竹の生命力をイメージしたというが、まさしくそんな感じに見える。あと数年後にはここに大阪中之島美術館の黒い外観も加わる。

「絵になる」中之島だらけ! 中之島スタイル.comのフォトコンテスト。

中之島でしか見られない風景と言えば、毎年秋に募集が行われる中之島スタイル.comによるフォトコンテスト。毎回、力作揃いで「こんな写真が撮れるのか!」と驚くこともしばしば。webサイトでは昨年度の優秀作品だけでなく、過去の作品も閲覧できて見ごたえあり。多彩な表情を眺めていると、カメラ片手に中之島を歩いてみたくなるはずだ。

中之島スタイル.com フォトコンテスト
https://www.nakanoshima-style.com/photo_award2018

「五代とライオン」

建物やアートを使って面白く写真を撮るのが流行っているけれど、中之島ならこんな写真はどうだろう。大阪取引所ビルの前に建つ五代友厚像と難波橋の四隅に座る獅子。交差点の対角線上にいる両者を対岸からクロースアップして撮ると、見つめ合っているような何か話しているような不思議で面白い写真になった。

島民_Vol_130.indd 3 2019/05/24 12:13

上から目線。

川に囲まれ、周りが開けた中之島は、
高いビルから見下ろす景色もまた格別。

「端の橋」
@中之島センタービル 31階

スカイルーム（貸スペース）や［うおまん中之島］の入る中之島センタービルの31階からは、中之島の西の端を一望できる。いくつもの橋が架かり、高速道路が延びていく様子は、東の端とはまったく違う趣で東西の対比が味わい深い。大阪湾も遠望でき、中之島から川でつながるのを体感できる素晴らしい眺め。

島民_Vol_130.indd 4 2019/05/24 12:13

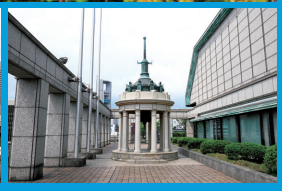
「都市に浮かぶ島」
@OMMスカイガーデン

中之島そのものを眺めるならこちらがおすすめ。OMM21階の「スカイガーデン」は大阪屈指のパノラマビュースポット。改めてじっくり眺めると、中之島の形がよくわかり、都市の中でうねうねとうごめく生きもののようにさえ見えてくる。入場無料、朝10時から夜9時まで開放されており、夜景スポットとしてもばっちりだ。※雨天時や特定日(天神祭など)は閉鎖

「西の奥」
@中之島フェスティバルタワー 13階

こちらは中之島フェスティバルタワーのエレベーター乗り換えフロアにあたる13階のテラスから。中之島の西南部、徒歩でしか渡れない越中橋(手前から2番目の橋)や水管橋(その2つ奥のアーチ)が醸し出す不揃いな感じが逆にいいアクセントになっていて、中之島の東側とは異なる雰囲気もまたよし。

大阪市役所の屋上緑化を見に行こう!



大阪市役所の屋上では、2003年から緑化が進められている。北と南の2ブロックにたくさんの草木が植えられ、ヒートアイランド現象の緩和だけでなく、昆虫や鳥をはじめとする生きものたちが暮らせる貴重な空間になりつつある。今年度は4月12日より公開されており、毎月第2・4金曜日に見学が可能。中之島を見下ろせる場所としても一見の価値あり。

大阪市役所本庁舎上緑化施設一般公開
日時／毎月第2・4金曜の1:00PM～3:30PM　期間／11月8日(金)まで
問い合わせ☎06-6469-3857

島民_Vol_130.indd 5　2019/05/24 12:14

夜はここから。

昼と夜で景色が変わるのは当たり前。
こうやって見れば、中之島の夜景はもっと輝く。

「営みの温度」
from 川の対岸

夜、土佐堀川の対岸には、川沿いの店舗やオフィスが灯りと共に浮かび上がる。くつろいでいても、働いていても、そこに人々の営みがあるということに都会的なあたたかみを感じる。北浜テラスで食事を楽しむ人たちは、中之島を眺めているのだろうが、その景色も十分に楽しい夜景の一部になっている。

「ザ・ライトアップ」
from 橋の上

橋そのものだけでなく、橋桁の裏側や川の護岸までライトアップが行われている中之島。ナイトクルーズの船が通ればさらに灯りが加わって、中之島の夜はこんなにカラフルだったのかと驚く。空気の澄んだ風のない夜には、ぜひ橋の上で立ち止まってたくさんの灯りを眺めてみてほしい。

「都市を縫う」
from 高速道路の下

大阪だけでなく、川や堀の上を高速道路が走ることには景観上の批判も多い。けれど、夜景となるとその無骨な感じが少しやわらいで、川と相まってなかなか面白い風景ではないだろうか。「都市美」と呼ぶのはちょっと気が退けるが、これはこれで中之島でしか見られないものではある。

島民_Vol_130.indd 6 2019/05/24 12:14

作家が見た中之島①

小説家の場合

織田作之助

提灯をつけたボートが
生物のように
川の上を往ったり
来たりしています。

浪花橋の上を電車が通ると、
その灯が川に落ちて、
波の上にさかさになった
電車の形を描きだします。

（『アド・バルーン』）

オダサクは中之島をいくつもの作品に登場させているが、昭和21年（1946）のこの作品ではとりわけ印象的なシーンの舞台になっている。昭和中頃まで中之島公園の貸しボートは大人気で、定番のデートスポット。その灯りは、恋に破れ死を決意した主人公の十吉にとっては辛い風景だったか。

オダサクの書く「電車」とは昔の大阪市電のこと。難波橋は大正4年（1915）、市電が走れるよう鋼製の橋として架け替えられた。（大正〜昭和初期の絵葉書・大阪市立図書館蔵）

司馬遼太郎

まず、中之島の堂島川に
ボートをうかべて大江橋、
渡辺橋のあたりをのぞんだ
川ぞいの風景をあげねばなるまい。
朝日新聞の旧社屋を
この風景のアクセントとして、
はるか空のきわみまでならぶ
近代建築群の景観は、
あるいは、日本一の
都市美かもしれない。
「いや、世界的だ」といった
イタリーの画家がいる。

（『大阪八景』『司馬遼太郎が考えたこと1』所収・新潮文庫）

司馬遼太郎は、産経新聞記者時代は西梅田に本社があったことからこのあたりをよく歩いたのだろう。エッセイで中之島の素晴らしさを一番に取り上げている。この文章が書かれたのは昭和36年（1961）。アクセントと表した時計塔のある朝日新聞社、朝日ビルに加えて朝日会館、新大阪ホテルなどの名建築が並ぶ景色は確かに壮観だったろう。

時計塔のある朝日新聞社は大正5年（1916）に建てられ、昭和40年（1965）に建て替えられた。右奥には朝日ビルも見える。（大正〜昭和初期の絵葉書・大阪市立図書館蔵）

有栖川有栖

中之島に〈上陸〉し、体の向きを西に転じれば、
まず目に飛び込んでくるのは
赤煉瓦造りの中央公会堂だ。（中略）
その陰になっているのが
重厚にして壮麗な府立中之島図書館、
その奥が大阪市役所。
メインストリートである
御堂筋を隔てて日本銀行大阪支店。
そのまた向こうには朝日新聞社、
中之島三井ビルディング、ダイビル、
関西電力などの超高層ビルが聳えている。
川が南西方向に垂れ下がるようにカーブ
しているためどのビルも重なることがなく、
その並び方はコーラスグループが
斜に構えてポーズを決めているみたいだ。

（『鍵の掛かった男』幻冬舎文庫）

現代の作品ではこれを忘れてはいけない。全編を通して中之島において物語が展開し、今もある建物や橋が頻出。パラレルワールドに浸れる楽しみがある。中之島の描写も様変わりし、特にタワービルが居並ぶさまをコーラスグループに例えるあたりが作家らしい。

島民_Vol_130.indd 7 2019/05/24 12:14

作家が見た中之島②

写真家の場合 野口里佳

のぐち・りか
1971年埼玉県生まれ。12年間のベルリン滞在を経て、2016年より沖縄を拠点に活動。国内外の展覧会で作品を発表し、『創造の記録』(roshin books・2017年)、『夜の星へ』(IZU PHOTO MUSEUM・2016年)など作品集も多数刊行。作品は東京国立近代美術館、国立国際美術館、グッゲンハイム美術館、ポンピドゥセンターなどに収蔵されている。http://noguchirika.com/

昨年度、アートエリアB1によって行われていた「クリエイティブ・アイランド・ラボ 中之島」では、さまざまなアーティストによるリサーチプロジェクトが行われていた。アーティストたちの先入観のない視点を通して、中之島の新たな個性を発見しようとする試みで、その中の一人に写真家の野口里佳さんがいる。

「島民」となった野口さんは、中之島をどのように捉えたのか。先日行われたトークイベントでの発言から読み取ってみよう。

ふだん私たちが気に留めていないものを察知する力に優れた野口さん。中之島を徒歩や自転車や船で回り、はたまた飛行機で上空から眺め、写真に収めていった。しかし、数回のリサーチではまだ「中之島の表面を触ってるだけという感じ」だったそう。

「大きな会社があって、公園ではきれいなお母さんが子どもを遊ばせていたり、犬の散歩をしていたり、なんだか隙がないというか、どこにも当てはまらないものが存在しにくい場所なのかなと思いました。あんまり変な人とかいないし(笑)。そこをちょっとくすぐりたいですね」

野口さんが求める「小さな物語」を見つけるのはなかなか大変な様子。確かに、大企業のオフィスや整備された場所の多い中之島では無理もないだろう。それでも、そのヒントになりそうなものは見えてきた。

「中之島は西日がすごくきれいだなという印象を受けました。特に国立国際美術館のあたりは夕日がきれいです。この写真はビジネスマンの人たちが帰る時間帯に合わせてみんなが集まる駅に行って撮影したものです」(野口)

「別の角度から世界を見るためには、やっぱり人が必要なんですよね。全然違う角度から中之島を見ている人に出会うこと。中之島には通勤している人がたくさんいますが、『他にはどんな人がいるだろう?』と考えているところです」

まさしく「島民」がキーになるわけだ。上の写真は大江橋南詰で撮られたもので、たくさんの人が行き交う。「朝みんながやってきて、夕方になると帰っていく。ある時間帯になるとワッと人口が増える感じが面白くて」(野口さん)。人々を包む光の風景が印象的だ。

「なかなか目に見えないものを、カメラの力によって目に見えるかたちにしたい、『出現させる』ということが今の自分のテーマです。これからやりたいなと思っているのは、ステレオタイプではない中之島の姿を見せて、普段中之島に行かない人たちに、行きたいなと思ってもらえる何かをつくること。作品の展示よりも中之島広告とか、中之島の新しいイメージをつくるような展開ができると面白いのではないかと思っています」

今回撮影した写真は「クリエイティブ・アイランド・ラボ 中之島」のホームページで公開されるそう。野口さんだからこそ見える中之島の景色は、どんなものだろうか。

島民_Vol_130.indd 8 2019/05/24 12:14

作家が見た中之島③

画家の場合

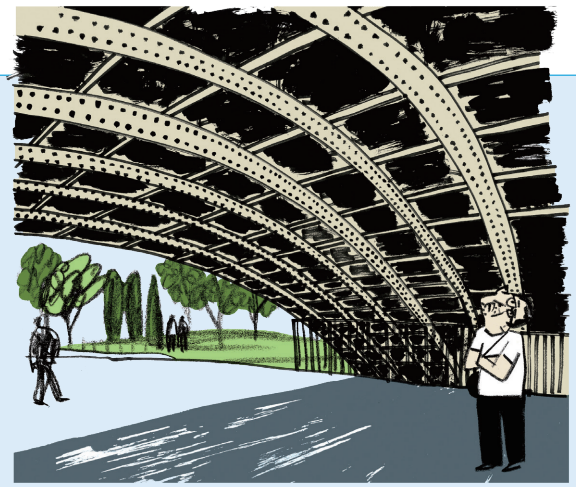
奈路道程

なろ・みちのり

表紙画でおなじみ、イラストレーターの奈路道程さん。仕事柄、中之島にはちょくちょく足を運ぶ。と言うより、癒やされに来ているらしい。

「梅田に来ると大抵疲れるんですよ。それで自然と中之島に足が向かう。地下街のような人通りもないし、北新地の夜の喧噪もない。都心の喧騒が突然途切れて、目の前がパッと開けるとホッとします。中之島の川がなければ、ずいぶん息苦しいでしょうね」

そんな開放感からか、あるいは作家ならではの感性か、島民になった奈路さんは、どうも他の人はあまり目がいかない場所が気になるらしい。「ビルとビルの隙間、今は誰も渡らなくなった歩道橋の上、あるいは橋の下とか」。さて、奈路画伯は中之島の風景に何を思うのか？



天神橋

「中之島公園から見上げる橋の裏側の構造」

「子供の頃から橋の裏側を見上げるのが好きなんです。鉄骨の複雑な構造を眺めていると、よじ登って鉄の林の中へ行きたくなる。あそこで1日過ごしたらどんな風だろうなあと妄想が膨らむんです。天神橋が架かる中之島公園の最東端は、人もまばらでちょうどいいですね」

堂島大橋

「木欄干に打たれた無数のリベット」

「お洒落でどっしりした石造りの淀屋橋や水晶橋もステキですが、堂島大橋のインダストリアル（工業的）な感じが好きです。特にこのリベット。オールドヨーロピアンに対してのアーリーアメリカンというか。なだらかなアーチの欄干を眺めているとつい登りたくなります」
※堂島大橋は現在通行止め

肥後橋

「橋から下流の川面に立つ三角波」

「ビル風の影響でしょうか。土佐堀川の川面に三角波が立っているのをよく見かけます。夕方だと西陽がキラキラと反射して波のトゲトゲが際立ち、ずっと眺めてしまう。ふと海を感じる場所でもあります。都心の中のロマン。ニニ・ロッソのトランペットが頭の中で鳴っています」

肥後橋交差点

「全体が斜めになっている交差点」

「交差点の北側に立って南を眺めると気持ちがザワザワしてきます。四つ橋筋を中心に五叉路になっていて、道路の傾斜が1本1本違うから、全体が歪んで見える。川を越えるために仕方なくこうなったような感じが好きですね。大阪の都心は平べったいから余計にそう感じます」

島民_Vol_130.indd 9 2019/05/24 12:14

ナカノシマ大学通信 6—8月

NAKANOSHIMA UNIVERSITY COMMUNICATION

21世紀の懐徳堂プロジェクト

当日券あり!

◎お申し込み受付中の講座

6/4（火）

6月講座「**BMCと『いいビル』の10年**」

トーク／BMC（ビルマニアカフェ）

豪華製本の新刊『特薦いいビル 国立京都国際会館』は会場でも販売します!

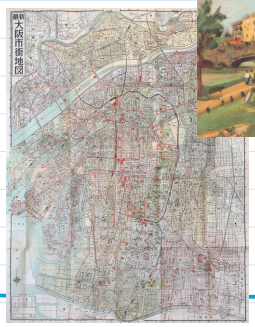
1950〜70年代のビルをこよなく愛する5人のメンバーによるユニット「BMC（ビルマニアカフェ）」。ビルを舞台にしたイベントやリトルプレスの発行、いいビルの魅力を写真集として出版するなど、10年以上にわたるBMCの活動を振り返ってもらいます。また、新刊『特薦いいビル 国立京都国際会館』の裏話や大阪のいいビルの近況など、盛りだくさんの内容でお送りします。

日程／2019年6月4日（火）　時間／7:00PM〜8:30PM頃（開場6:30PM）
会場／大阪市中央公会堂 小集会室　受講料／2,000円　定員／80名
主催／ナカノシマ大学事務局

7/17（水）

7月講座「**大阪24区物語③ 大住吉文化圏と平野**」

講師／本渡章（作家）



大人気シリーズの第3回目にして最終回は、大阪市南部の住吉文化圏がテーマ。住吉大社を核にしながら、平野郷をもう一つの中心として、時代とともに拡大＆変化してきたこのエリア。その流れと特徴を古地図から読み解きます。

日程／2019年7月17日（水）　時間／7:00PM〜8:30PM頃（開場6:30PM）
会場／大阪市中央公会堂 小集会室
受講料／2,500円（大判地図付き）　定員／80名
主催／ナカノシマ大学事務局

特製古地図付き!

今回の特典地図は昭和31年（1956）発行の「最新大阪市街地図」（本渡章蔵）。

◎今後の予定

8月下旬

8月講座「**おかき・あられ・せんべい** —とよすと米菓の117年—」

講師／豊洲牧子（とよす株式会社元広報部長・とよすあられ創業者曾孫）

「あられはやっぱり♪」のCMも懐かしい、創業117年を迎えるとよす株式会社。その歴史を紐解くと共に、意外と知らないお米を使ったお菓子の秘密をご紹介。中身や製法の違いなど、実際に食べ比べながら米菓のあれこれをお教えします。

募集要項

お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。
複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルヂング602号　「ナカノシマ大学」受付係　FAX.06-6484-9678

※先着順で受付後、**随時**受講票をお送りします。※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。

◎詳しい開催情報はナカノシマ大学のwebサイトで随時更新していきます。そちらでご確認ください。
また、メールマガジンでも講座の情報をお送りしています。

ナカノシマ大学の最新情報は
https://nakanoshima-daigaku.net/

ケータイやスマホからはこちら!→

お問い合わせ
☎06-6484-9677
（ナカノシマ大学事務局）

島民_Vol_130.indd 10　2019/05/24 12:15

大阪水上バス・岸田俊徳の

水辺で会いましょう

大阪水上バス株式会社企画宣伝部課長。ミナミの劇場プロデューサーを経て、関西・大阪21世紀協会にて大阪の文化事業に関わる。2010年より現職。

「大阪妄想クルーズ 初級編」

中之島周辺は桜が終わった途端に夏の装いになります。桜のシーズンは一番の繁忙期。毎年ふと気がつくと桜が散っていて、季節に追いつけないジレンマを噛みしめる今日この頃です。昨年の夏は台風による増水によって乗船タラップが流されたり、大変なことがありましたが、今年の夏はそのぶんにぎやかになればいいなと思っています。

さて、前回「クルーズを妄想してみる」というコラムを書いたところ、意外と反響がありました。そもそも人はなぜクルーズをするのでしょうか？

ロビンソン・クルーソーは船で冒険に出かけたわけですが、現代ではクルーズは冒険ではなく街の観光資源の一つという認識が強くなっています。バーベキューやパーティーの新しい場所としての船。船上でもにぎやかに乾杯している風景をよく見かけるようになってきました。船と街がもっと上手に関わるために、妄想クルーズを広げてみようと思います。

大阪妄想クルーズの第1弾は『銀二貫』がテーマです。大阪を舞台にした小説で、高田郁さんのドラマや舞台にもなりました。主人公は侍の子供でしたが、縁あって天満の青物市場近くで寒天を扱う「井川屋」で丁稚として働くことになります。主人公の目を通して見た大阪天満宮や天神橋、天満橋などさまざまな風景が登場。大阪～京都の舟運の様子も丁寧に書かれていて勉強になります。

読んでいるうちにテンションが上がり、ストーリーに沿って街を巡りたくなるはず。いわゆる「聖地巡礼」ですね。まずは天神橋の真ん中で集合し、天神さんにお参りしたい。その後、青物市場跡の石碑がある南天満公園を散策し、八軒家浜船着場から船に乗って伏見まで。徒歩と船で隈なく満喫できそうですが、船場あたりをゆっくり巡ろうとすると1日では足りなさそうです。

といった感じで、とりあえずは物語の風景を思い浮かべながら一人妄想クルーズ。本を片手にアクアライナーに乗船なんていうのはいかがですか？

アクアライナー

☎0570-035-551　http://suijo-bus.osaka/

大阪水上バスの定番クルーズはこちら!

アクアライナー

大阪の水辺観光、まずはこちらから。

大阪城港、八軒家浜船着場、淀屋橋港、OAP港の4つの港をつなぐ定期観光船。毎日運航している大阪の大定番クルーズ!　約55分／大人1,700円・こども850円　※春期は特別料金

アクアmini

オープンデッキで気軽にいこう。

開放感たっぷりの小型船。「大阪城・道頓堀クルーズ」は大阪城と道頓堀の2大観光地をつなぐ。約50分／大人1,200円・こども600円　◎桜の時期には大阪城港からショートクルーズも運航!

ひまわり

お食事できます。ちょっとリッチに。

シーンに合わせたお食事を選べるチャータークルーズや季節ごとのイベントクルーズを運航するクルーズ船。優雅なクルーズを楽しみたい方にオススメです。料金や出航時間はお問い合わせください。

サンタマリア

天保山から大阪湾をひとめぐり。

大阪港内を周遊するコロンブスの旗艦をモチーフにした大型観光船。海上からの雄大な眺めをご満喫ください。デイクルーズ（大阪港めぐり）　約45分／大人1,600円・小学生800円

こころまち つくろう
KEIHAN
大阪水上バス

島民_Vol_130.indd　11　　2019/05/24　12:15

6・7月
LECTURE

天神祭の歴史を学び、ガイドになろう! 髙島幸次先生による「天満天神御伽塾」。

千年を超える長い伝統を持つ天神祭は、毎年7月25日の夜に百数十万人を超える人々でにぎわう夏の風物詩。しかし、長年にわたる歴史的変遷や広い範囲で展開される諸行事のため、全体像を理解できている人はほとんどいない。

そんな天神祭について知るための連続講座が開催される。講師は天神祭研究の第一人者である髙島幸次先生。3回にわたり、大阪天満宮と天神祭の歴史・現状や、その背景となる天神信仰について学ぶ。

また、天神祭のボランティアガイドである「御伽衆(おとぎしゅう)」の養成講座を兼ねており、御伽衆に選抜されると船渡御などの解説ができる可能性もある。

「天満天神御伽塾」
日程／
第1回 6月23日(日)「天神信仰とは何か?」
第2回 6月30日(日)「大阪天満宮の歴史」
第3回 7月7日(日)「天神祭のなりたちと今」
時間／0:40PM～5:00PM(各回3コマ)
会場／文華館(大阪天満宮境内)
受講料／1講座1,000円
申し込み／mada2ato3kg@softbank.ne.jp
まで連絡を

6・7月
RAKUGO

天満天神繁昌亭が一時休館。リニューアルオープンは7月1日に。

上方落語の定席である天満天神繁昌亭が、リニューアルのために6月1日から30日までの1ヶ月間休館となる。

リニューアル工事では空調設備の入れ替えを行うと共に、天井の提灯の新調や館内の一部改装も。ロビーを広げ休憩スペースが広くなるという。

また、改装後の7月1日以降の公演では座席が全席指定になる。長年の要望に応えたもので、長時間並ぶ必要がなくなる。その他、昼席の開演時間が午後2時からになるといった変更も。さらに7月はリニューアル月間として、さまざまな特別企画も予定されているそうで、そちらも楽しみにしたい。

というわけで天神寄席もお休み。7月も天神祭のためお休みで、次回は8月25日となる。ナカノシマ大学での前売券の取り扱いは引き続き行うので、こちらはwebサイトをチェックしておいてほしい。

島民_Vol_130.indd 12 2019/05/24 12:15

8月 EVENT

グランキューブ大阪で盆踊り。「中之島なつまつり」今年もやります!

夏の終わりの名物イベントとして定着した「中之島なつまつり」。今年も8月26日(月)にグランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)で行われる。

メインとなるのは河内音頭の第一人者・河内家菊水丸さんをゲストに迎えての盆踊りで、櫓ステージの前で数百人が輪になって踊る様子は圧巻。ABCのアナウンサーによる司会進行で、地元で活動する音楽グループのパフォーマンス等も予定されているほか、毎年のお楽しみとなっているグルメ屋台もズラリと並ぶ。子どもたちに人気のキッズコーナーもあるので、家族全員で楽しもう。

「中之島なつまつり」
日程／8月26日(月)
時間／17:00〜21:00
入場料／無料
(ただし、飲食ブースは有料)
※雨天決行
http://nakanoshima-natsumatsuri.jp/

中之島まちみらい協議会だより　第1回　「私たち、〝まち協〟について」

みなさんは中之島まちみらい協議会(通称・まち協)という名前を聞いたことがあるでしょうか? 私たちは中之島の地権者からなる任意団体で、平成14年(2002)に中之島が都市再生緊急整備地域に指定されたことや、京阪電車中之島線の着工を契機に再開発が進み、中之島が一つの地域としてまとまりある議論が必要になったことを受けて、平成16年(2004)に発足しました。

私たちの活動をわかりやすく言えば、将来の中之島の都市像を描くこと。例えば、交通インフラの整備や文化・情報機能の集積に基づいて都市インフラ、環境、エリア防災のあり方を考えることは、私たちの大きな課題の一つです。また、サイン計画やウェブサイトによる情報発信を通し、中之島というブランドの確立をめざしたシティプロモーションにも力を入れています。

今後、中之島の開発や整備はさらに進み、さまざまな都市機能が充実していくことでしょう。その中でも、水辺であることを生かした中之島のまちづくりのためにいろいろな活動をしていきたいと考えています。

なかなか読者の方々と直接の接点を持つ機会はありませんが、公式サイト「中之島スタイル.com」の運営や毎年秋のフォトコンテスト、地域清掃などは私たちの活動の一つです。この欄では、毎回、まち協の活動についてご紹介していきます。

ロゴマークは中之島を拠点に活動するgrafにデザインをしていただきました!

中之島の地域情報サイト	中之島スタイル.com	https://www.nakanoshima-style.com/

島民_Vol_130.indd 13 2019/05/24 12:15

大阪―京都―滋賀 プレミアムな旅だより 夏

お祭り、花火…夏の風物詩を訪ねて。

祇園祭で夏が来て、送り火で夏がゆく。京の町衆は、毎年のようにこう言い交わします。

祇園祭は7月1日の祭の諸事打ち合わせが町内で行われる「吉符入（きっぷいり）」から、7月31日に八坂神社で行われる「疫神社夏越祭」まで、1ヶ月にわたる祭礼です。山鉾町の中には吉符入の夜から「二階囃子」を始めるところもあり、四条烏丸界隈は祭のムードが高まります。17日の前祭、24日の後祭では、「動く美術館」とも言われる山鉾が巡行。夜になると八坂神社の神輿3基も出ます。

夏といえば花火も見たいもの。びわ湖大花火大会は、約1万発という規模もさることながら、日本最大の湖というロケーションを生かした演出も魅力。湖上から左右に打ち上げられ、視界いっぱいに広がる花火に圧倒されます。大津港周辺の湖畔に立てば、打ち上げられた花火の色が湖面を染める様子も見ることができます。

盂蘭盆（うらぼん）が終わる8月16日の夜には、「お精霊（しょうらい）さん（祖先の霊魂）」をあの世に送る「五山送り火」が行われます。大文字から順に、松ヶ崎妙法、船形万燈籠、左大文字、鳥居形松明と、5分置きにそれぞれの山の炎が上がります。送り火を眺めつつ、ゆく夏を惜しんでみるのもいいものです。

祇園祭

祇園祭では前祭・後祭それぞれに山鉾巡行が行われる。何度でも通って祭りを楽しもう。絢爛豪華な山と鉾をじっくり見るなら、座って観覧できる有料観覧席もある。
日時（河原町御池通過予定時間）／前祭7月17日（水）10:20AM～、後祭7月24日（水）10:00AM～
料金／一般席3,180円（全席指定、パンフレットや日除け帽子等付）　祇園祭まなび席7,000円（前祭のみ、全席指定・パンフレットや日除け帽子等付・イヤホンガイド付）　辻廻し観覧プレミアム席 前祭10,000円／後祭くじ改め観覧プレミアム席7,000円（全席指定・パンフレットや日除け帽子等付・イヤホンガイド・祇園祭記念品付）
交通アクセス（有料観覧席）／京阪電車「三条駅」下車徒歩10分
問い合わせ☎075-213-1717（京都市観光協会）

©（公社）びわこビジターズビューロー

2019びわ湖大花火大会

日時／8月8日（木）7:30PM～8:30PM（小雨決行）
観覧場所／大津港周辺のびわ湖畔、なぎさ公園、皇子山陸上競技場
打ち上げ場所／滋賀県営大津港沖水面一帯
交通アクセス／京阪電車「びわ湖浜大津駅」下車徒歩5分（大津港周辺）
問い合わせ☎050-5434-9169（びわ湖大花火大会コールセンター）

五山送り火

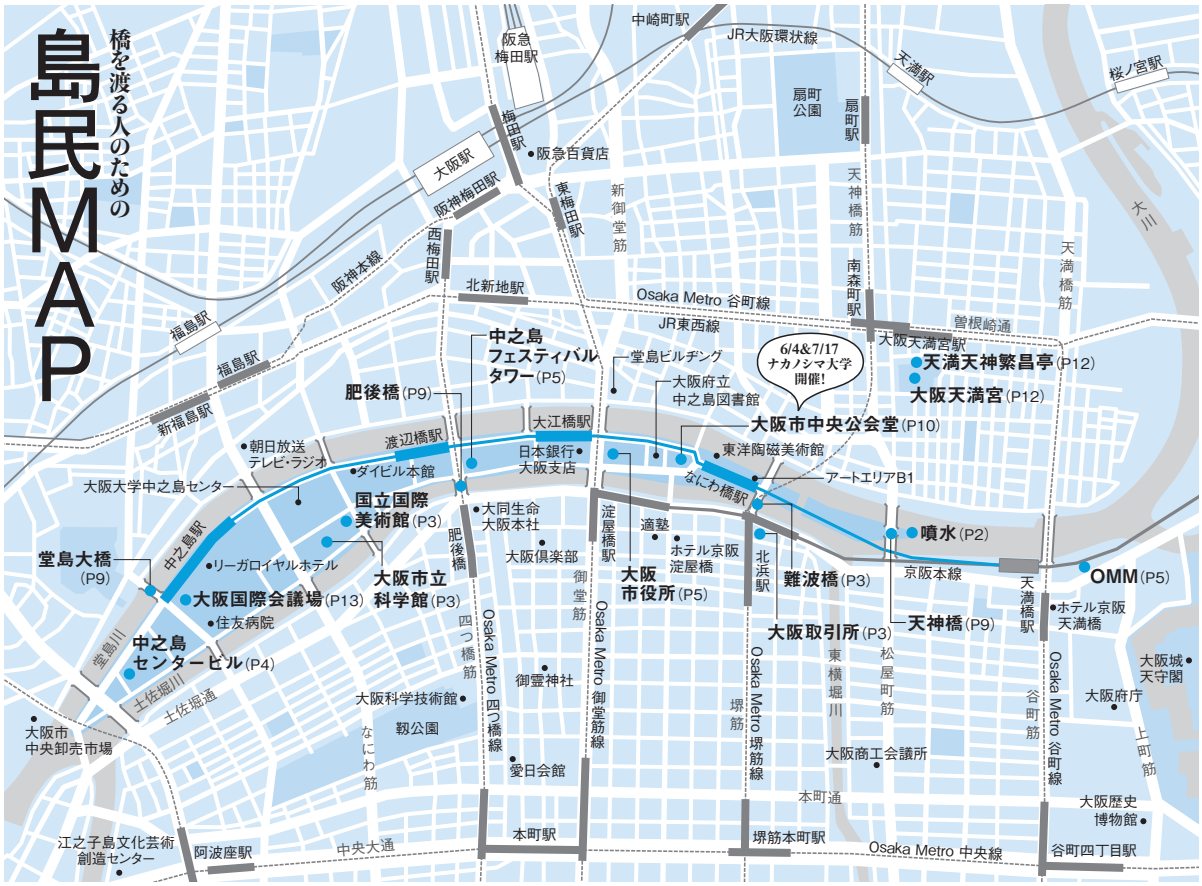
送り火は、お盆に迎えた「お精霊さん」をあの世に送り返す「精霊送り」の伝統行事。手を合わせて先祖を思うひとときとしたい。
日時／8月16日（金）8:00PM～
場所／京都市内各所（鴨川河畔など）
交通アクセス／京阪電車「神宮丸太町駅」または「出町柳駅」下車（鴨川河畔）

プレミアムカーで夏の京都へ行こう!

ゆったりくつろげる指定席で、快適な時間をお過ごしください。

京阪特急 座席指定|特別車両 PREMIUM CAR

運転区間　淀屋橋（大阪）⇔出町柳（京都）　特急停車駅（淀屋橋・北浜・天満橋・京橋・枚方市・樟葉・中書島・丹波橋・七条・祇園四条・三条・出町柳）
料金　400円・500円　（別途乗車券が必要です。なお、プレミアムカー以外の車両は従来どおり乗車券のみでご乗車いただけます。）
予約方法　予約専用サイト「プレミアムカークラブ」または特急停車駅のインフォステーション等で「プレミアムカー券」をお買い求めください。
詳しくは　https://www.keihan.co.jp/traffic/premiumcar/　京阪電車お客さまセンター☎06-6945-4560（9時～19時※土・日・祝日は17時まで）



『月刊島民』はここでもらえます。

●**京阪グループ**　京阪電車主要駅／京阪特急プレミアムカー／ホテル京阪 淀屋橋／ホテル京阪 天満橋／ホテル京阪 京橋 グランデ／パナンテ京阪天満橋／京阪シティモール／京阪モール

●**大阪市北区・中央区・福島区**　**【書店】**旭屋書店 梅田地下街店／大阪高裁内ブックセンター／紀伊國屋書店 梅田本店・グランフロント大阪店・本町店／ジュンク堂書店 大阪本店・天満橋店／清風堂書店／西日本書店／ブックスタジオ／文教堂書店 淀屋橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／隆祥館書店　**【公共施設・大学関連施設など】**アイスポット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／朝日放送テレビ・ラジオ／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立科学館／大阪市立総合生涯学習センター／大阪市立東洋陶磁美術館／大阪市役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪歴史博物館／川の駅はちけんや／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／北御堂／くすりの道修町資料館／慶應大阪シティキャンパス／国立国際美術館／芝川ビル／市立住まい情報センター／適塾／ドーチカ／中之島香雪美術館／ホテルNCB／立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス　**【店舗・医院など】**アサヒスーパードライ梅田／江戸前鰻料理 志津可／cafe大阪茶会／co-ba nakanoshima／天満橋鍼灸整骨院／エルマーズグリーン コーヒーカウンター／大西洋服店／喫茶カンターロ／喫茶SAWA／喫茶星霜／グランスイート中之島／黒門さかえ／The Court／五感 中之島ダイビル店／サトウ花店 中之島本店／ザ・メロディ／シアトルベストコーヒー新関電ビル店／じろう亭／Girond's JR／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／たまがわ鍼灸整骨院／デニムマッドネス／パストラーレ／平岡珈琲店／白灯／ビルマニアカフェ／feu feu／FOLK／フレイムハウス／丸福珈琲店 中之島ダイビル店／ミニジロー／吉田理容所

●**大阪市内その他**　**【書店】**旭屋書店 なんばCITY店／紀伊國屋書店 京橋店・天王寺ミオ店／喜久屋書店 阿倍野店／ジュンク堂書店 難波店／福島書店／丸善 高島屋大阪店／柳々堂／ルーブル書店　**【公共施設・大学関連施設など】**大阪科学技術館／大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪高裁内ブックセンター／大阪市立中央図書館／大阪府立江之子島文化芸術創造センター／川口基督教会　**【店舗・医院など】**アートアンドクラフト／オールドリバー／御舟かもめ／カルチャーカフェ上方／Calo Bookshop and cafe／バルピコ／ホステル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A

●**大阪府下**　旭屋書店 京阪守口店／枚方蔦屋書店／Books 呼文堂／水嶋書房 くずはモール店／大阪狭山市立図書館／大阪市立難波市民学習センター／大阪大学企画部広報・社学連携事務室／大阪大学 21世紀懐徳堂／大阪大学本部／大阪府立中央図書館／摂南大学 地域連携センター／野村呼文堂／Mamma／郵政考古学会／ゆったりんこ

●**大阪府以外**　クロスロードカフェ／ジュンク堂書店 西宮店／恵文社 一乗寺店／千里文化センター「コラボ」／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／宝塚市立中央図書館／奈良県立図書情報館／百錬／八幡市立男山市民図書館／龍谷ミュージアム

●**東京**　往来堂書店（千駄木）／BOOKSルーエ（吉祥寺）／B&B（下北沢）／隣町珈琲（荏原中延）／ONLY FREE PAPER（東小金井）／かもめブックス（新宿）

◎バックナンバーが見られます。

最新号の発行と同時に、ひとつ前の号がweb上で閲覧できるようになります。創刊号から見たい方はこちらから。https://nakanoshima-daigaku.net/about/tomin/

◎定期購読も受け付け中です。

毎号確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

「島民」の発行サイクルが変わりました。

今年度から島民は年4回の発行となります。2019年度の発行日は以下の通りです。

2019年6月1日、9月1日、12月1日、2020年3月1日

配布場所は原則としてこれまでと同じです。今後ともご愛読よろしくお願いします。

●次号予告 島民vol.131「堂ビル物語」は9月1日発行です!

編集・発行人／大迫 力（株式会社140B）
編集・発行／島民プレス
若狭健作　綱本武雄（株式会社 地域環境計画研究所）
松本 創　道田恵理子　山國恭子（株式会社140B）
〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルヂング602号
TEL.06-6484-9677　FAX.06-6484-9678
制作進行／堀西 賢（ALEGRESOL）
デザイン／山崎慎太郎
表紙イラスト／奈路道程
印刷／佐川印刷株式会社

島民_Vol_130.indd　15　　2019/05/24　12:15

島民 夏号 130号 2019年6月1日発行 編集・発行人／大迫力（140B）
編集・発行／島民プレス 〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルヂング602号 定価0円 Printed in Japan

こころまち つくろう
KEIHAN

あなたの京都が、
見つかりますように。

京阪のる人、
おけいはん。

京阪で、おこしやす。

https://www.okeihan.net